

第4回 甲賀市地域医療審議会信楽中央病院部会 議事録

日時：令和4年7月28日（木）14時00分～16時00分
場所：信楽地域市民センター 2階 会議室A・B
議題：1 挨拶
2 甲賀市地域医療審議会中間答申について
3 病院強化プランの概要について
4 議事
（1）令和3年度信楽中央病院決済状況（見込）について
（2）令和3年度信楽中央病院事業執行状況等について
（3）令和3年度信楽中央病院決算における経営指標実績について
（4）信楽中央病院の在り方について

出席委員：岡村謙平部会長、山本哲雄副部会長、大谷善一委員、
大矢克英委員、大矢ルミ子委員、富田智佳子委員、

傍聴人：なし

事務局：中島院長、田中理事、小西事務長、明利事務長補佐、
山本直樹事務長補佐、佐々木看護部長、木下医療技術部長、
（医療政策室 熊野係長）

14：00

1. 開会

明利事務長補佐

甲賀市地域医療審議会信楽中央病院部会を開催する。
長家委員から富田委員へ交代の為、挨拶あり。
本委員会は会議録作成のため、録音、写真撮影する旨の報告。
各委員に確認の上、後日会議録を公表する。

2. 挨拶

中島院長 挨拶（コロナ第7波について触れる）

岡村部会長 挨拶

審議会実施状況の報告（甲賀市地域医療審議会と信楽中央病院部会の連携）について

明利事務長補佐

審議会規則第3条により岡村部会長に議事の進行をお願いします。

3. 議事

岡村部会長

それでは、会議の進行をさせていただきます。
本日の会議は16時00分までの予定となっておりますので、皆様のご協力をお願いします。
また、会議につきましては公開ということになっておりますが、本日傍聴の申し込みはありましたか。

小西事務長 昨日までを申込期限としていましたが傍聴希望者は
いらっしゃいませんでした。

岡村部会長 傍聴者がいないようですので、引き続き会議を進め
ます。

本日は過半数の出席をいただいていますので、審議
会規則第3条第2項の規定により会議が成立するこ
とを報告させていただきます。

報告事項の(1)番目、甲賀市地域医療審議会の中
間答申について、甲賀市の広報に概要が掲載され
ておりましたので、答申内容に合わせ、事務局から説明
をお願いします。

小西事務長 資料1により甲賀市地域医療審議会中間答申につ
いて説明。

岡村部会長 7月発行の甲賀市広報に掲載されていま
したが、市民の皆様から問い合わせはありましたか。

田中理事 広報に掲載後の問い合わせは特にきており
ません。ただし、掲載前に貴生川地域の区長会のほう
には、答申が出たというご報告をさせていただいて
います。その後、7月に再度区長会からご要望があ
り、再度説明にお邪魔させていただいています。一般
市民からの問い合わせは特にありません。

岡村部会長 では、次に報告事項の(2)の病院強化
プランの概要について事務局から説明をお願いします。

小西事務長 資料2により説明。

岡村部会長 プランの作成は具体的にどの時点から
作成されますか。

小西事務長 次年度におきまして、専門的知識が少
ないため、委託等も考えております。今年度に次
年度に備えての予算を確保し、年度当初から契
約、それから進めていく予定です。

岡村部会長 従前の病院改革プランにつきま
しては、本来総務省から外部委員会で策定する
ようにと示されており、甲賀病院等では、その
手順で策定されていたと思います。今回の病
院強化プランについて、総務省からは外部委
員会を作るように言われていませんか。

小西事務長 外部委員会を作るという内容は
なかったと思います。市民や議会への説明を
するように明記されていたのは覚えています。

岡村部会長 いずれにしても、中央病院部会
あるいは審議会の最終答申を反映させられ
ますか。

小西事務長 もちろん考えております。

岡村部会長 この資料はざっくりとした資
料ですので、今後その都度ご説明いただ
ければと思います。

岡村部会長 それでは、議事(1)(2)(3)につ
いては関連いたしますので、一括して説明
をお願いします。

小西事務長
岡村部会長
岡村部会長

資料3から9により説明。

ご質問はございませんか。

3年度においては、コロナの病床対応で補助金が出ており、4年度も同様に補助金が出ていると思うが、コロナ感染が落ち着いた際、補助金は入ってこなくなるとすると、コロナ対応をしながら収支バランスをとっていかねば、累積欠損が大きくなる。根本的な対応を考えていただきたい。当部会でも中間報告でよいので話をしていただきたい。

もう一つは、P35の入院予算とP14の入院収入を比較すると数字がおかしいと思う。例えば、4年度の入院収益は2億7800万計上ですが3年度は1億3800万であること、あるいは補助金の医業外収益金額4年度予算が大きくマイナスになっている。何か原因があるのでしょうか。

小西事務長

予算を作成する際、まず最低限の経費を算定いたします。人件費が104%となっておりますので、本来の入院収益が入ってくるであろう額では均衡予算にならないところがあり、入院の一日平均を前年の30床と合わせています。ただ、県から今年度も補助金が続いてあるという情報が入っていなかったため、補助金はないものとして予算を組みました。

また、他会計の補助金ですが、2年度、3年度は一般会計から経営支援補助金という基準外の補助金を5千万いただいていた。4年度はコロナの補助金を勘案されたため、その分の一般会計からの繰り出しが無くなったものです。

岡村部会長

コロナの補助金は別として、例えば±0の予算を組まなければいけないとして、実際入るあてのないものを計上せずに、赤字予算は組めないのですか。

小西事務長
岡村部会長

組めないことはございません。

コロナの補助金があるのでいいですが、本当に必要な費用がこれだけなのかを出して、職員に経営改革をしなければいけないとの新しい認識を持っていただくことも必要だと思います。それから、一般会計や特別会計では繰上充用がありますね。企業会計はどのような制度はないですか。

小西事務長

例えば国保会計などは、翌年度に入ってくる保険料を見越して繰上充用はできますが、病院に限っては入院収益が下がっている状況で繰上充用をするものがないので、なかなか難しいかと思います。

大矢（克）委員

P35ですが、R4年とR3年の予算を比べたところで意味がないということですよ。P27のR3年事業会計収益費用明細書の金額と予算を比較し検討してR4年度の予算が出てくると思います。P24ではR3年とR2年の事業収入を比べていると思いますが、予算と実績と並べてある一覧表を見たほうが分かりやすいのでは

ないかと思えます。

岡村部会長

R3年予算をあげた結果決算を出して、R4年度の本
当の数字で出た決算見込になるが収支バランスを±0
をする為に翌年度予算をこのように組んでいるとした
ほうが解りやすいということでしょうか。

大矢（克）委員

予算を前年度と比べても仕方がないのではと思いま
す。それよりも、R2の予算と決算、R3の予算と決算
を比較してみたほうが何に問題があるか分かります
と思えます。

岡村部会長

監査提出等として必要な資料だと思いますが、部会
等の資料は分かりやすいように作成し直してもらって
も結構ですので、検討していただきたいと思えます。

小西事務長

分かりました。予算と決算を対比して並べるように
させていただきます。

岡村部会長

山本副部会長、何かございますか。

山本副部会長

R3年度においては、コロナ感染症入院病床確保補助
金があり、それによって黒字を確保したというところ
です。経費的などころについては、先生方も努力をさ
れ、医業収益そのものも大幅にはないですが懸命に
頑張っておられるなどと思えます。

もう一つキャッシュフローで特徴的などころが P26
の2億程もうかっているのに何故一時借入れがおきる
のか、コロナの病床確保補助金の入りが1ヶ月単位
で見込めたら現金を借入れる必要はなかったのです
が、まとめて交付されたため、それに対してつなぎ資
金を市の資金短期貸付要領に基づいて借りて年度内に
返したということです。

岡村部会長

ありがとうございます。

もう一つ P43 のホームページ開設をした閲覧数の件数
ですが、どのぐらいの構成割合でしょうか。多くがコ
ロナの感染割合でしょうか。

小西事務長

今は全体のデータは持っておりますが、個別のデー
タは持っておりませんので、また確認します。申し訳
ございません。

岡村部会長

住民の皆様はやはりコロナウィルス感染症の情報が
欲しいというのがおおかたの見方じゃないかなと思いま
す。住民の皆様が必要とされる部分は詳しく更新を
速やかにお願いしたいと思えます。

もう一つ出張診療所の話ですが、実際に出張診療所
を利用されている患者さんはどのようなご意見をお持ち
でしょうか。あるいは、朝宮多羅尾田代の方で、直
接中央病院にて診察を受けてらっしゃる方も多いと思
いますが、その方々も出張診療所に関するご意見どん
な風にお持ちなのか、把握しておられませんか。

小西事務長

申し訳ございません。

岡村部会長

分かりました。私が関連する部分から出させていた
だきます。

山本副部長 先程大矢先生がおっしゃられていたとおり、予算と
 予算の比較はあまり意味がないと思います。

小西事務長 今後、予算決算というように対比できるようにしま
 す。

山本副部長 その予算が歳入歳出同額で一緒になっていると思
 います。これはしょうがないと思います。議会に提出す
 るのはこういう方式しかできない。

岡村部長 議会に出す様式は±0で空予算を組んで出さなけれ
 ばいけないと思いますが、空予算ではしょうがないと
 思います。監査で定まっているものがあるのであれば
 それはそれとして、このような部会では、別に分かり
 やすいものをお出ししたらどうかと思います。

山本副部長 一番いいのが、損益分岐点でこれを超えたら利益が
 出てくるというふうに作ってもらえればと思います。

岡村部長 公営企業の損益分岐点ってありますね。その話です。
 小西事務長 はい。
 岡村部長 それでは、次に進みます。議事の最後（４）信楽中
 央病院の在り方について、中島先生から説明をお願いします。

中島院長 議事（４）信楽中央病院の在り方について資料１０
 により説明。

岡村部長 前は院長のお考えということでしたが、今回は病
 院よりの提言をいただきました。前回第６回の地域医
 療審議会において信楽についての意見交換が行われま
 したので、これについて事務長から説明をいただきた
 いと思います。

小西事務長 追加資料１をご覧いただきたいのですが、簡単にま
 とめた意見集約でございます。医療審議会で答申の後
 に信楽中央病院について各委員の皆様から様々な意
 見ございました。例えば滋賀医大や淡海医療センター
 と連携してはどうか、慢性期の患者を受け入れてはど
 うか等さまざまな意見が出ましたので、こちらに意
 見を記しております。

岡村部長 また、裏面の最後にあります部長からのご意見と
 しましては、コンサル等の活用や、プランの策定につ
 いて部会の中で情報共有を図る、また部会の意見を審
 議会に報告していくというようなことについてご意見
 を述べられましたので、ここに意見を記させていただきます。
 またご確認願いたいと思います。

岡村部長 審議会でも申し上げましたが、審議会の状況は部会
 で報告をし部会でも意見を頂戴する、さらに部会を出
 てきた意見をまとめて次の審議会にも報告する。なお、
 部会でご意見を伺う前に病院内部で職員がどのように
 考えられておられるかについて把握した上で臨んでい
 きたいと話をしております。病院内部の職員がどのよ

うに考えておられるかは、中央病院の在り方について中島院長からお話をいただきました。何かご質問はございますでしょうか。

大矢（克）委員

診療所のアクセスがどうかという話ですが、タクシー券を使用して通院される方がいらっしゃると思いますが、朝宮の出張診療所を利用している方が券を利用して信楽中央病院に行って診察を受けるとなると仮にそれができるとしたらどちらのほうを経費的によいかを検討するもの一つだと思います。それと、買い物等の地域参加については、安否確認もかねてJAか平和堂が移動販売で回られていると思いますが、介護と医療とすり合わせていったらいいのではないかと思います。ずれるかもしれませんが、介護のほうでアンケートをとっておられて、理想と現実のギャップを埋めていく何か指針を作っていけば、何か医療も介護も変わってくるのではないかと思います。

岡村部会長

アクセスやタクシー券の話ですが、健康福祉部だけではなく市行政全体の話になってきますので、それぞれの関係部署に話を持ち帰りいただいてご検討いただけたらと思います。

田中理事

移動販売ですが、甲賀市全域で高齢者対策として取り組ませていただいております。ご協力いただけるところで回らせていただいております。高齢者の外出や介護を組み合わせる上で、病院へのアクセスや生活の向上につながっていくと思いますので、今のご意見を参考にしながら検討させていただきます。

大谷委員

今話が出た中で分かりにくいのは、中央病院の医師や看護師や医療技術やそれぞれ実際に働いていただいているスタッフ方のリアルな話をご紹介していただけたらと思います。

岡村部会長

大変な時期ですが、連携をしながら対応を住民の為にお願いをしたいと思います。もろもろの調整は、市の健康福祉部においてもお願いしたいと思います。

岡村部会長

次に、追加資料2についてですが、6月4日の審議会において私が提出した資料から抜粋したものでございます。あくまで数字で見た結果だけを比較をする為に作成したものです。

【部会長より年次推移に関する説明あり。】

中央病院について、コロナ渦が落ち着いて現在の状況が続けばもちろん成り立ちません。コロナ渦であるとはいえ、それ以前から患者の減少が起きている。資料38ページを見ると患者の割合は年々減っていて、中央病院から他の病院に患者が流れています。なぜこの現象が続くのか、どうしたら中央病院に戻ってきていただけるのかを考えて実践しないと経営が成り立たないと思います。

今、中央病院を利用されている患者さんの年齢構成は、決算資料（38,39 ページ）にも出ているように今年3月では、外来患者の92%が、入院患者では100%が65歳以上となっています。

もちろん65歳までの方を確保することも大切ですが、信楽の人口が合併時に比べ25%も減少し、その多くが若い人たちであることから判断すると、まずは高齢者の方に、いかにこの病院を利用させていただくに尽きるのではないかと思います。

私的に、提案をさせていただくとすれば、細かなこととなりますが、中央病院に対する、患者さんの評価がどうであるのかということについて、より多くの方のご意見を把握して、改善すべきことは、できるだけ早く対応することが大事だと思います。

具体的に申しますと、玄関を入った左側のところに意見箱が設けてあり、そこにアンケート用紙が置いてあります。

先日、通院した際に、その用紙をいただいて帰り、内容を見ておりました。

様式の内容は、なんでもよいのでご意見・ご要望を書いてくださいということになっています。今すぐに改めるべきだと思います。

何のためにアンケートを取っているのか、病院として何を確かめたいのか判りません。

患者さんやご家族の方が、病院をどの様に見ておられるのか、どう評価しておられるのか、何を改善すべきなのかということ把握できるものにしないと何の意味もないと思います。

治療面では、診療科目に対する希望はどうか、治療内容、検査内容等の説明、診察の結果・症状の説明は理解できたか、分かり易かったか。

接遇面では、職員の言葉遣いや挨拶はどうかとの問いも必要です。市内のある民間病院では、「本日〇〇〇を担当します〇〇〇です」とか、廊下で患者さんに「おはようございます」、「こんにちは」との声かけをしている。この声掛けは、業務委託業者のスタッフも徹底しています。

声をかけていただいた患者の受ける印象はよくないはずがありません。

患者満足度の測定も必要です。

最後に、ご意見ご要望を自由に記入していただく。

集約結果は、定期的に、できるだけ早く、全職員が共有し、患者さんにもこれをお知らせする。

そして、改善を行う。もちろん患者さんにも改善内容をお知らせする。そこで、アンケート用紙の配布と回収方法です。

・事務所の会計窓口でお渡しして、自宅で記入いた

だく。

・回収方法＝アンケート用紙と同時に、料金受取人払いの封筒をお渡しして、病院に送っていただく。

・いつお渡しするのか＝月の初回受診日、毎月初回受診日に、保険証の確認をして、会計が終わった時に保険証をお返しするので、どの患者さんにお渡しすれば良いのか、わかります。

・入院患者さんには、短期入院の場合、退院時に配布。長期入院の場合、1か月か2か月に一回。

回収方法は、外来と同じ。

・大事なことは、集約結果、指摘いただいた内容、改善内容等について、院内の掲示板や広報誌で答えを返すこと。

次に、情報発信について、広報の発行は、どのようにされていますか。

小西事務長

広報は昨年8月に発行しています。今年度も地域連携だよりで、A4を6枚くらい市内20か所くらいに配置予定です。

岡村部会長

以前は年3回でしたが、1年に1回になった理由は何かありますか。

小西事務長

申し訳ございません。分かりません。

岡村部会長

中央病院の患者さんは65歳以上の方が多く、まずは高齢者の方に対して紙媒体による情報提供すべきだと思いますが、できれば2ヶ月に1回ほど広報担当の負担が増えますが、裏表両面くらいで使ってもよいと思います。先程のアンケートの結果も広報紙で早く返せると思います。アンケートを会計で初回時に渡す同時期に広報紙もお渡しをしていただければより多くの方に見ていただけるのではないかと思います。

木下医療技術部長

アンケートですが、コロナ前に1度アンケートをとった経緯があります。機会があればそのときに回収した意見を提示はできると思います。あと広報ですが、その時の担当者のスキルによっては、その年度に発行できる回数が増えているというのがあります。できるだけ発行回数を増やすようにしたいと思いますが、スタッフが限られていますので、できればホームページとラインならびに広報紙と同じ内容でリンクさせながらたくさん情報発信できるようにと思います。

岡村部会長

毎回6ページもせず、A4表裏でよいので、とにかく回数だと思います。

小さなことから取り組んで、患者さんを中央病院に早く戻すべきだと思います。

大矢（克）委員

時代の流れで患者数が減っているのは仕方がないのではないと思います。患者数が減れば沢山の方法を先生が患者さんにお話しできることになると思います。

大谷委員

古い中央病院の良さというのは、住民に関わり身近な本当に困ったときに頼れる病院だと思います。

当面はコロナの関係で無理だと思いますが、ファンが寄ってこれるようなイベントを企画してみてもいいでしょうか。

岡村部会長
小西事務長

また病院でご検討いただきたいと思います。
【資料 1 1 により、今後のスケジュール予定について説明】

岡村部会長

それでは、本日の議事はすべて終了しました。

明利事務長補佐

皆様お疲れ様でした。進行を事務局にお返しします。
岡村部会長ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして山本副部会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。

山本副部会長 挨拶

明利事務長補佐

これをもって甲賀市地域医療審議会信楽中央病院部会を終了させていただきます。

16 : 00 閉会